

令和3年度行政評価 事務事業評価シート(令和2年度実績)

事務事業コード	060401020	予算コード	01043000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	市営住宅施設管理事業			正規職員数 2.8	国庫支出金 0	有効性	B	建替完了までは対象住棟の維持管理のため、一定の修繕コストがかかっているが、旧耐震基準住棟の建替後は減少傾向に進むとみられる。また新耐震基準を満たす住棟においては、長寿命化計画による老朽化の予防保全を図ることで、入居者の安全に加え将来の財政負担の圧縮や街なみ形成に寄与することも課題となっている。		
担当課	建築住宅課			嘱託職員数 0.9	府支出金 0	効率性	C			
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0				妥当性	A
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)	その他 27,400	受益者負担	A			
	公営住宅法、住宅地区改良法、泉佐野市営住宅条例、泉佐野市営住宅条例施行規則			人件費総額 25,084	一般財源 58,285					
					減価償却費 0					
事務事業類型	施設管理事業			フルコスト(千円)	85,685	緊急性	A		事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	852				市営住宅の修繕及び維持管理を行った。	
対象				活動指標	R2実績	公的関与	B			
特定の市民	対象数	1,268人		修繕件数	391.0					
市営住宅入居者						実施主体・委託化	C			
事業の内容						他の事務事業との関連	C			
①市営住宅及び関連施設の修繕対応及び維持管理				成果指標	R2実績	透明性	B			
②市営住宅駐車場の管理				管理戸数	994.0	財政健全化計画	A			
						財政健全化の取組	B			
				コスト指標	R2実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的	健康で文化的な生活を営むことができるよう市営住宅及び関連施設を管理し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。			住宅1戸当たりの経費	86,202.2					